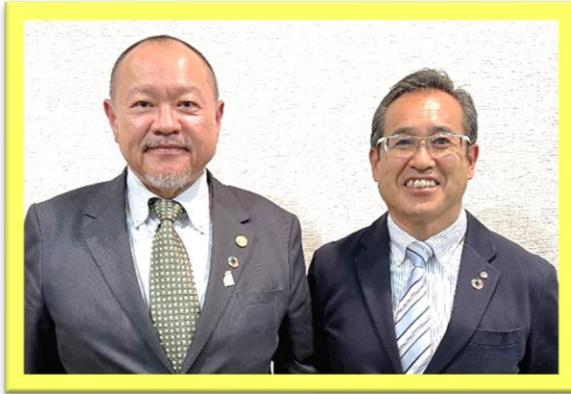




草加松原ロータリークラブ

2024-25年度 国際ロータリーのテーマ ロータリーのマジック



第619回例会 4月22日 草加市文化会館

＊＊本日のプログラム ＊＊

開会点鐘	幹事報告
ロータリーソング	委員会報告
四つのテスト	SAA報告
お客様紹介	出席報告
会長挨拶	閉会点鐘

卓話 米山奨学生
モンドル, プリティ ラニイさん

4月15日の例会記録

- ◆ お客様 獨協大学ローターアクト 孫 正仁様 王 智丞様 佐藤俊太様
2024-25 米山奨学生 謝 嘉杰様
- ◆ 会長あいさつ 富永 悟会長

皆さんこんばんは、久々の移動例会ということで、森プログラム委員長には最低でも2ヶ月に1回は、移動例会を今年度は実施したいということで今までも私達、草加松原RCはとも仲の良いクラブでアットホームな雰囲気が出ていて、例会に行ってもとても楽しいですと言われていたのですが、さらに新しいメンバーを今年度は迎えておりますので、さらに仲良く今後もロータリー活動進めていきたいと思っておりますので、本年度はこういった移動例会、親睦例会を多く取り上げさせていただいております。

そして、今日この後入会式をさせていただきますけれども、新たな会員となりました野原さん、本当にありがとうございます。時間の許す限り例会に出席をしていただければ有難いと思っております。

また、ローターアクトの王くん、佐藤くん、謝くんが卒業されましたけれども、まだ今後大学院生を目指すということで日本にいますので、いい先輩がいますから、これから獨協大学のローターアクトの人数の補充、活性化を我々もサポートしていきたいと思っておりますので、どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

今日は長谷部会員の「シュガー・ヒル」こちらのジャズバーで、皆さんとともに楽しく例会を過ごしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 二階堂祐司幹事

皆さんこんばんは、幹事報告をさせていただきます。お客様どうもいらっしゃいませ、今日は、報告はありません。

だんだん年度末に近づいているとひしひしと感じております。ありがとうございます。

4月15日 出席報告

会員総数	36	出席	17
出席免除	4	MU	2
出席適用	31	出席率	61.29

今後のプログラム

4/29 休会（昭和の日）

5/6 休会（子どもの日振替）

5/13 誕生祝・結婚祝

レセプション



国際ロータリー第 2770 地区第 9 グループ

草加松原ロータリークラブ

会長：富永 悟
幹事：二階堂祐司

例会日：毎週火曜日 19:00~20:00

例会場：草加市文化会館

事務局：草加市青柳 8-56-21

TEL/FAX 048-967-5315

PC : sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp



野原ゆかりさん入会おめでとうございます



野原 ゆかりさん

獨協大学 国際交流センター 所長

ご紹介に預かりました東京大学の国際交流センターというところの所長をさせていただいております。事務的な手続きがどうしてもこの国際交流センターとなっていることで、所長がと言う事で今日参りました。よろしくお願いいたします。大学の紹介をしてきてくださいと言われましたのでさせていただきます。

先ほどご紹介にありました通り、本学昨年6月末までは、草加中央ロータリークラブさんの方で会員とさせていただいております。

ただ、活動を終えられたということで、こちらのロータリークラブさんにご紹介をいただいて入会をさせていただいたということでございます。このロータリークラブさんとは、2003年、私がちょっと書類を色々引っ張り出して見ますと2003年から本学の外国人学生の米山記念奨学金で大変お世話になっております。今年も3名の学生達が奨学金をいただけるということでお知らせをさせていただいております。こういった活動が、奨学金もそうですけれども、彼らのようにローターアクトとして、日本人の学外、しかも自分たちがいつもいるアルバイト先の人ではなくて、ほんとに大人の社会の方たちと一緒に活動するというのが、この先彼らが日本の社会で生きていく、仕事をしていく上での非常に自信になっているのではと思います。我々大学人としては、グローバル人材、日本人もそうですが、受け入れているその外国人学生も含めてグローバル人材を育成しているというところで、こういったロータリークラブさんのところでも育てていただけたということは非常にありがたくしております。

多分、私、着任しまして11年目ということで、おそらくこちらにいらっしゃる皆さんの方が獨協大学については非常に詳しいのではないかと思います。獨協大学が草加に開学してから61年目です。丁度東京オリンピックの時に開学をしたという風に聞いております。そこから、61年間、何が変わったかということ、とにかく草加市が国際化してきたということを多文化社会になってきたということと、それに伴って獨協大学自体も非常にグローバル化してきた、キャンパスの中でグローバル化してきたということが挙げられます。あとは、女性の進出と言いますか、昨年度から本学の学長も女性の前川学長になりました。役職者の中でも女性の割合が高くなってきました。この60年間というところで非常に色々変わってきたところだと思います。

本学には学生が8,500人ほどおります。その中で海外、外国籍の学生というのが250名おります。ただし、この250名というのは、いわゆるそのお母さんがどこかの国の人で、自分も国籍もう1つ持っているというような人達もです。ここに来ている学生は、外国人留学生として入試で入ってきた学生が居るのですけれども、そういった学生は50数名ほどおります。この250名の海外に繋がる学生というのは草加市民であったりもするのですけれども、本学の外国人を占める割合というのが大体2.9%という風な数字です。これいかがでしょうか、皆さん2.9%というのが多いのか少ないのか、どういう風にお感じになりますでしょうか！これ少ないとかお感じになりますか！最近、日本の人口が公表されたところですけれども、2024年最新のものです、日本の中の外国人が占める割合というのが2.9%、大体、獨協大の中の外国人の占める割合と日本の外国人の占める割合が同じという数字になっています。埼玉はどうだと思いますか？埼玉は3.4%ですね！全国で5番目に外国人が多いです。草加はいかがでしょう、ご存知でしょうか！4.3%、多いですね！草加の町を歩いていると気が付くと思うのですが、非常にやはり外国人が歩いている。

私が着任した11年前は2.3%ほどでした。この10年で大体倍ぐらいに増えているということになっております。本学の今年のその奨学金いただける3名につきましては、バングラディッシュの学生とネパールの学生とベトナムの学生という風に決まっております。これまでは中国の学生が非常に多かったと思うのですが、こういった多様性というようなものが日本の社会、あとは埼玉、草加の社会を反映したようなものになっているのかなという風にはちょっと感じております。

ここで1つちょっと宣伝をさせて下さい。毎年6月上旬に「草加市国際交流協会」さん主催で本学が共催としてやっております「国際交流フェスティバルの草加国際村一番地」というのがございます。そこに来ていただくと本当に多文化だというのが体験できるような状況になっておりますのでお時間がありましたら6月上旬です。6月8日です。日曜日、今年はオープンキャンパス重ならないかもしれませんがお待ちしております。よろしくお願いいたします。

私自身も実は研究分野に関しましては外国人労働者を対象とした研究をやっておりまして、彼らの言語環境であったり言語習得であったり、そういったことを研究しております。また何かお力になれることございましたらお声がけいただければと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



米山奨学生入学式

4月20日(日)パレスホテル大宮にて今年度当クラブでお世話をする
モンドル、プリティ ラニイさんの入学式が行われ富永悟会長・木村博
行会長エレクト・加藤芳隆カウンセラーが参加しました。



演奏者

ボーカル 岩野未侑
ピアノ 杉山美樹
ベース 三浦トオル
ドラム 長谷部健一

演奏曲目

- ・APRIL IN PARIS
- ・Fly Me To The Moon
- ・Take Five
- ・五番街のマリー
- ・元気を出して
- ・IT Pon 't Mean A Thing
- ・L・O・V・E
- ・Tennessee Waltz
- ・上を向いて歩こう
- ・A 列車で行こう

